Reスキル講座　第四次産業革命スキル習得講座　講座情報

インターネット・アカデミー株式会社

IoTエンジニア育成コースA

実施者	インターネット・アカデミー株式会社				
講座名称	IoTエンジニア育成コースA				
認定番号	50207-1128	認定期間	2021/4	～	2024/3
実施方法	平日昼間、平日夜間、土日	入学定員	制限なし		
訓練期間	41 日間	訓練時間	82 時間		
開講月	1月、2月、3月、4月、5月、6月、7月、8月、9月、１０月、11月、12月				
受講経費	入学料 11,000円　受講料 823,680円　合計 834,680円				
教育訓練給付指定	有り／指定番号 48264-211001-4	指定期間	2021/4	～	2024/3

対象分野	ＩｏＴ
講座の教育内容	Web技術とECHONET Liteを組み合わせて、IoT製品を制御するアプリ開発や設計を学ぶ。
目標とするレベル	■当該教育訓練が対象とする技術や手法等を活用して、業務上の課題の発見と解決をリードするとともに、後進育成にも貢献できるレベル □当該教育訓練が対象とする技術や手法等を活用して、新規ビジネスやサービス等の創出が可能であるほか、後進育成にも貢献できるレベル
具体的な到達目標	「グリーン政策大綱」（内閣官房 国家戦略室）では、2030年までに全世帯にHEMS（ホーム エネルギー マネジメント システム）の設置を目指しており、本講座で学習するECHONET LiteはHEMSにおける重要な規格です。また、IDC Japanの調査では、スマートホーム・スマート家電の普及がBtoCにおけるIoT市場の成長に貢献しており、ECHONET Liteを使ったIoT技術を有する人材を育成することで、HEMSの普及や日本のIoT技術の発展に貢献することができます。この講座では、スマートホーム・スマート家電の分野におけるIoT技術を習得し、IoT製品を制御するアプリ開発や、サービスの企画設計において中核を担える人材を育成します。
習得できるスキル	・サーバー、ネットワーク、プログラミングの技術 HTML、JavaScriptの技術を習得。IoTにおいてユーザーが操作するコントローラーのインターフェースや、システム面の設計や実装ができるようにします。また、IoT機器制御における通信や、アプリケーション開発に必要なサーバーやネットワークの知識を習得します。 ・IoTの技術 IoT機器を制御するための国際規格であるECHONET Liteを学習し、IoT機器の制御方法を習得します。スマートフォンなどのデバイス用にアプリケーションを開発し機器制御を行う、メールを送ることで機器制御をする、APIと連携してIoT機器を動作させるなどの実習を通じてIoTサービスの設計力、開発技術を習得するだけでなく、アイデアソンやプレゼンテーションを通じてサービスの企画立案力も身につけます。
講座の理解・習得のために推奨される実務経験	なし
講座の理解・習得のために推奨される知識・技術	最低限のインターネットリテラシー 可能であればプログラミングの基礎知識
技術・知識の到達度の把握・測定方法	1. 出席率による評価 2. 修了テストによる評価
修了認定の判断基準	1. 全課程の8割以上の出席を修了要件とする。 2. 修了テストで80点以上を獲得する。修了テストでは、学習した技術についての理解度を測定。
修了認定基準に満たない受講者への措置	1. 出席率が満たない場合は、「7.受講の利便性」で記載するサービスによってサポートする。 2. 修了テストで合格点を獲得できなかった場合は、再試験を実施する。
社会人が受講しやすい工夫	・土日や祝日も含めてスクールを開講（年末年始、GW、お盆、月1回のメンテナンス日のみ休業） ・1年間の受講期間の中で、受講者の都合に合わせて通学が可能 ・講義は月間で複数回開催しており、スケジュールが合う講義に参加できる ・講義に参加できない場合はオンデマンド(映像授業)でも受講可能。講師がいる場で受講するため不明点の質問も可能。 ・演習やプレゼンテーションなど映像では対応できない授業の場合は、マンツーマン授業で受講が可能。
受講者に対するサポート体制	・講師に質問できるフリーレッスン室を用意、パソコンなど必要な環境も完備。 ・受講生に対して専任のキャリアアドバイザーを1名、担当としてつける ・1度の授業で理解が不十分だった場合も、同じ講義を繰り返し受講できる再受講システムによりフォローができる。
教育訓練施設所在地	東京都新宿区
ホームページ	https://www.internetacademy.jp/